

我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立逢坂小学校

○調査目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【結果について】

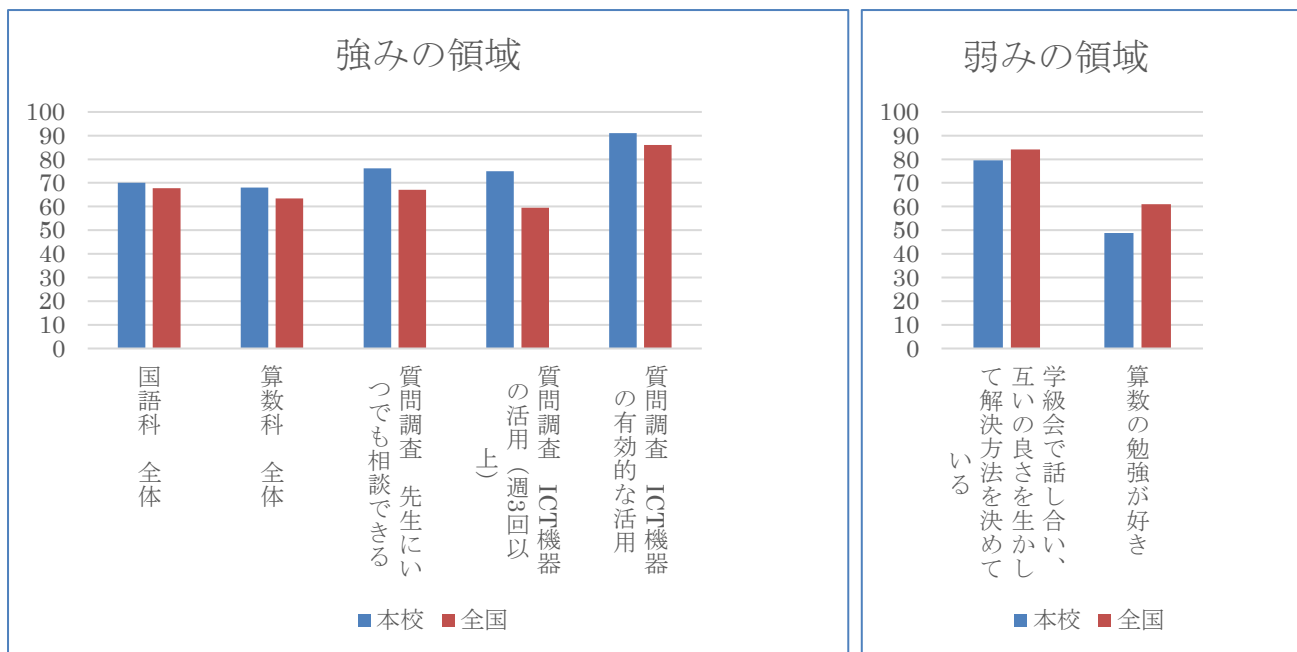
《概要》

- ・学力調査結果から見た学力について、国語、算数ともに全国平均を上回っており、結果は良好と言える。
- ・基本的な生活習慣や「早寝・早起き・朝ご飯」が定着していること、また、家庭での予習や復習の習慣が身につけている児童が多いことがあげられる。
- ・学習や生活全般で、自ら考えて取り組む力にやや弱さは見られる。

《○強み・●弱み》

- 国語・算数ともに正答率が高く、知識及び技能、思考力・判断力・表現力ともに良好な結果が得られている。
- 全国比で、先生にいつでも相談できると答えて言える児童が多く、困った時には相談できる環境であると言える。
- 全国比で、ICT 機器を扱う頻度が高い上に、有効的に ICT 機器を活用していると言える。
- 全国比で、学級会を通して互いの良さを生かして解決方法を決めていると感じている児童が少ない。
- 全国比で、算数を好きと感じている児童が少ない。

◇強み・弱みグラフ◇



【指導の充実に向けて】

- ・これからも主体的な学習につながるような課題やめあてを設定し、ふり返りを大切にした授業づくりに取り組む。
- ・今後も「朝読書」や「隙間読書」等の活動を充実させ、読書に親しめる環境づくりに努める。
- ・家庭との連携を密にし、児童の基本的な生活習慣の確立に努める。
- ・学級会を通して、学級の課題を共有した上でそれぞれの良さを生かした解決方法を考え実行し、その成果を適切にフィードバックしながら、子どもたちが自ら考えて行動する力を高めていく。
- ・算数科を好きと感じている児童が少ない傾向があることを踏まえ、校内研究を核として、個別の課題に寄り添い、一人一人が充実感や満足感を感じられるよう、授業改善に努める。